

# 第3回日本脳ドック研究会

The 3rd Annual Meeting of “The Japanese Society for  
the Detection of Asymptomatic Brain Disease”

## プログラム/抄録集



会長 篠原幸人

(東海大学神経内科)

1994年6月18日・パシフィコ横浜

# 第3回 日本脳ドック研究会 プログラム／抄録集

第3回日本脳ドック研究会会長 篠原 幸人

会 期 平成6年6月18日(土) 8:30-17:35

会 場 パシフィコ横浜・会議センター  
〒220 横浜市西区みなとみらい1-1-1  
TEL:045-221-2121(代表)

事務局 東海大学医学部神経内科  
〒259-11 伊勢原市望星台  
TEL:0463-93-1121(内線 2240)  
0427-46-8441  
FAX:0427-46-8445

研究会会期中本部 第3回日本脳ドック研究会本部  
パシフィコ横浜・会議センター3F(315)  
TEL:045-223-6162

## 世 話 人

朝倉 哲彦	太田 富雄	小林 祥泰	桜井恒太郎
高倉 公朋	舘野 之男	田中 隆一	赫 彰郎
東儀 英夫	戸谷 重雄	端 和夫	早川 徹
福井 仁士	松本 圭蔵	宮坂 和男	山口 武典
山田 弘	吉本 高志	篠原 幸人	

## 幹 事

中川 俊男 藤原 悟

## ご 挨拶

札幌医科大学脳神経外科端和夫教授、東北大学脳神経外科吉本高志教授に続き、今回初めて内科系が本研究会を主催させて戴くことになりました。

今や脳ドックはマスコミにも取り上げられ、時代の寵児となった感があります。しかし、反面脳ドックそのものまたは脳ドックを行っている医師・施設の目的・意義に関して、懐疑的な考えを持っている方もおられるようです。これを単なる思い過ごしであると一蹴し、また本研究会を将来学会にまで格上げし、neuroscienceのひとつとして位置づけるためには、研究会の内容をより充実させ、学問的にも意義づける必要があります。

今回の研究会の主目的のひとつは脳ドックそのものの臨床的意義をより一層確立することであり、他のひとつは発見された異常所見に対し我々に何が行え、それが被験者自身にどれほどの利益をもたらすかを、もう一度原点に戻って検討し直すことでもあります。

今回は、特別講演とシンポジウムを各ひとつずつ企画しました。特別講演は小生のインターン時代の恩師でもある聖路加国際病院院長日野原重明先生に、「人間ドックの過去・現在と将来の見通し」と題してお話をお願いしました。日野原先生は、本邦における人間ドック創始者のお一人でもあり、脳ドックを含めたドック一般に対する率直なお考えが伺えるものと楽しみにしております。シンポジウムは、脳検診そのものの意義を問う「発見された無症候性脳血管病変にいかに対処するか」を企画しました。すでに、本研究会は発足後3年を経過しましたので、かなりのデータが集積されつつあります。それをこの機会に各指定演者にまとめて戴こうと言うのがその意図であります。

今回は前回にも増す81題の一般演題が集まりました。特に今年は内科系施設からのご発表や参加も増え、本研究会が一部の脳神経外科医の特殊な集まりという傾向から脱しはじめた感があります。また今回も本会終了後、同一会場でサテライトセミナーとして、日進月歩のMRI・MRA情報を関係各社から発表して戴きます。各演者が簡潔に最新の進歩を示して下さることを希望しています。

本研究会参加者の方々が、貴重な収穫を得られて帰られることをお祈りすると共に、世界に先駆けて本邦で育ちつつある脳ドック及び本研究会（Japanese Society for Detection of Asymptomatic Brain Disease: Nickname “Brain Check-up”）が将来世界的に発展することを願って、ご挨拶とさせて戴きます。

第3回日本脳ドック研究会  
会 長 篠 原 幸 人

# 参加者へのお知らせとご案内

## 1. 会場

会場の場所と内容は次の通りです。

- A 会場（5F）：一般演題，特別講演，シンポジウム  
サテライトセミナー
- B 会場（3F）：一般演題
- 展示会場（3F）：商業展示

## 2. 登録

### (1) 受付時間

6月18日（土） 8：00～17：00

### (2) 受付場所

パシフィコ横浜・会議センター 3F総合受付

### (3) 参会費

プログラムに綴じ込んである参加者カードに氏名，所属をご記入の上参加費7,000円とともに受付に提出し，ネームカードをお受け取り下さい。  
ネームカードのない方の入場はお断りいたします。

### (4) 専門医の登録

本会は，日本脳神経外科学会生涯教育クレジットの対象となっておりますので，脳神経外科専門医の方は忘れずに参加者カードに番号をご記入下さい。

### (5) 新入会員受付

3F新入会員受付にて所定の手続きをおとり下さい。（入会金2,000円）

## 3. プログラム／抄録集

各自ご持参下さい。当日ご希望の方には，3F受付にて実費（1部1,000円）で販売いたしますが，部数に限りがありますのでご了承下さい。

## 4. 呼び出し

会場内での呼び出しは，緊急の場合に限り3F総合案内にお申し出下さい。  
私的な用件についてのご連絡は，3Fの伝言板をご利用下さい。

## 5. OAサービス

2FにOAサービス（コピー機，FAXなど）が設けられておりますのでご利用下さい。（有料）

## 6. ドリンクサービス

ジュース，コーヒーなどのサービスを以下の2箇所に用意いたしますのでご利用下さい。（無料）

3F・5F フォワイエ

## 7. クローク

3F（311）に用意いたしますのでご利用下さい。

## 8. 昼食案内

会場内でお弁当の販売もありますが、会議センター内あるいは隣接ホテルにレストランがございますのでご利用下さい。

## 9. 懇親会

平成6年6月18日午後7時よりパシフィコ横浜・会議センター3Fの懇親会会場にて行います。会費は3,000円ですので予め3Fの懇親会受付にてお申し込み下さい。

## 10. ご注意

会場内および会場周辺での指定場所以外における喫煙，飲食はご遠慮下さい。

# 発表者へのお願い

## 1. 発表時間

一般演題：講演時間は5分，討論は2分です。座長の指示に従って，指定された時間内での発表をお願いいたします。制限時間1分前に青ランプの点灯，終了時には赤ランプが点灯しブザーが鳴ります。

シンポジウム：講演時間は10分，各々演者の発表が終了した後，40間分の総合討論を予定しています。

## 2. スライド

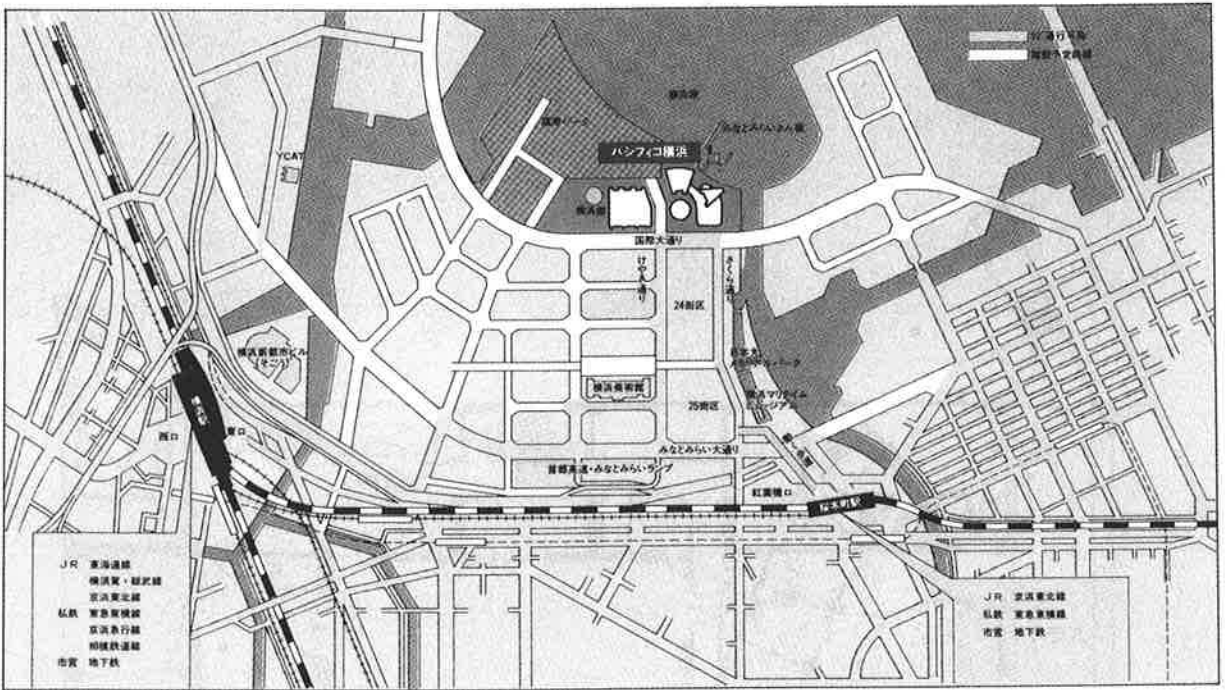
- (1)スライドは35mmプロジェクターを2台用意いたします。
- (2)演者は，発表時間30分前までに各会場スライド受付にスライドを提出して下さい。
- (3)スライドは講演終了後，速やかに受領証と引き換えにお受け取り下さい。  
研究会会期中に忘れた方は，会期後事務局へお問い合わせ下さい。

## 3. 演者は前演者の登壇と同時に次演者席にご着席下さい。

### 研究会実行委員

山本 正博	高木 繁治	北川 泰久
吉井 文均	泉 義雄	滝沢 俊也
灰田 宗孝	浜野 均	鈴木 敦子

# 会場への交通案内図



## 電車でご来場の場合

JR・東急東横線・市営地下鉄 桜木町駅より徒歩約10分(動く歩道利用)

- 東京 → JR 30分 → 横浜 → JR 3分 → 桜木町
- 品川 → JR・京浜急行 18分 → 横浜 → JR 3分 → 桜木町
- 渋谷 → 東急東横線 38分 → 桜木町
- 羽田空港 → モノレール 15分 → 浜松町 → JR京浜東北線 34分 → 桜木町
- 成田 → JR成田エクスプレス(N'EX) 85分 → 横浜 → JR 3分 → 桜木町
- 関西方面 → JR東海道・山陽新幹線 → 新横浜 → 市営地下鉄 15分 → 桜木町

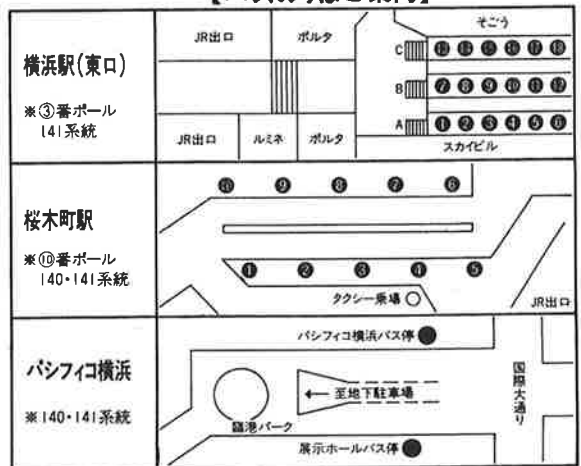
横浜駅・桜木町駅からバスのご利用もできます。

- 横浜駅東口より 141系統 パシフィコ横浜下車(約10分)
- 桜木町駅より 140, 141系統 パシフィコ横浜下車(約5分)

## お車でご来場の場合

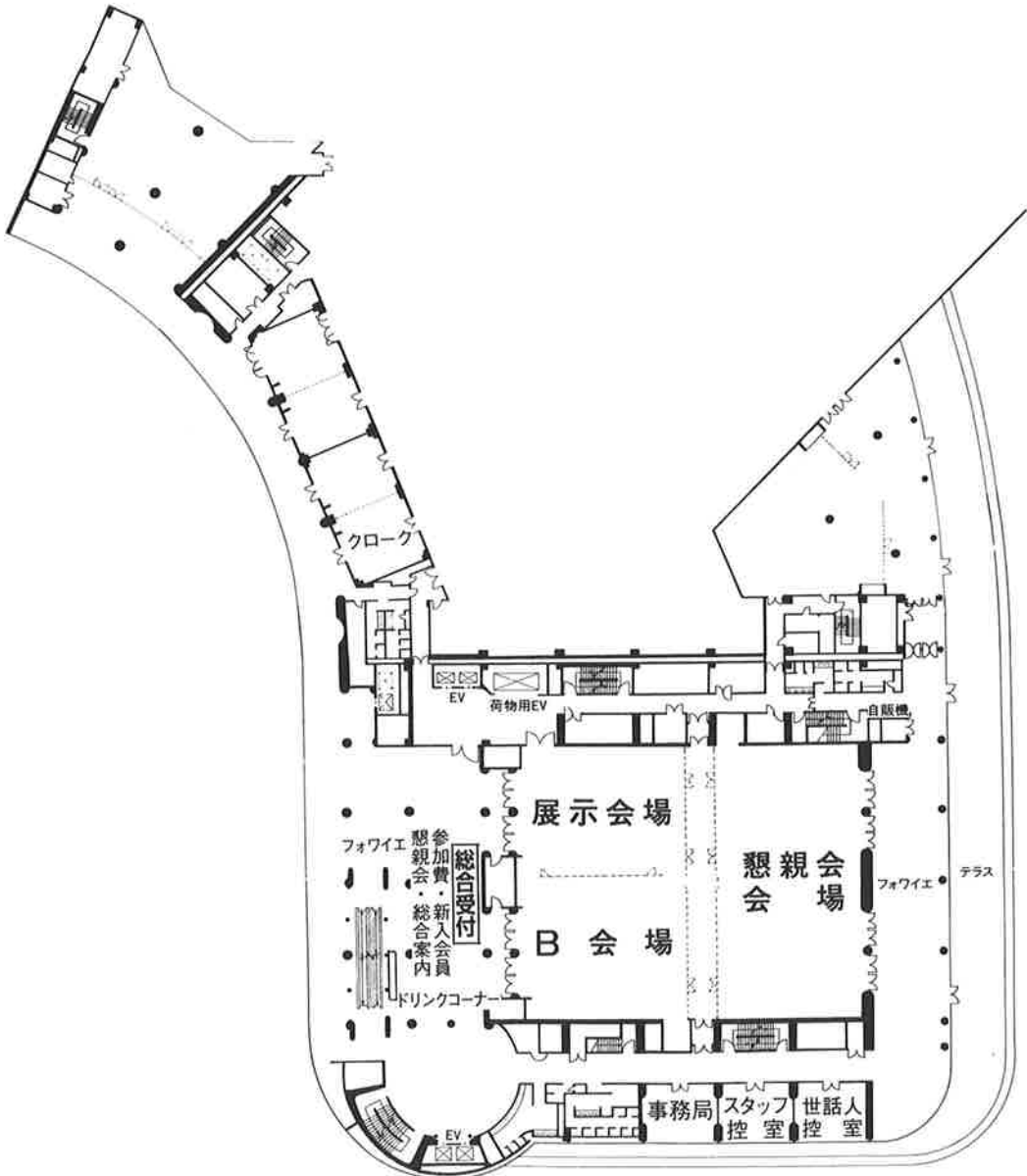
- 東京方面より 首都高直1号羽田線 → 高速神奈川1号横羽線 → みなとみらいランプ下車すぐ(約30分)
- 羽田空港 → 横浜駅東口(約30分), 成田空港 → YCAT(約90分)のラムジンバスもごさいます。

## 【バスのりばご案内】



# 会場見取図

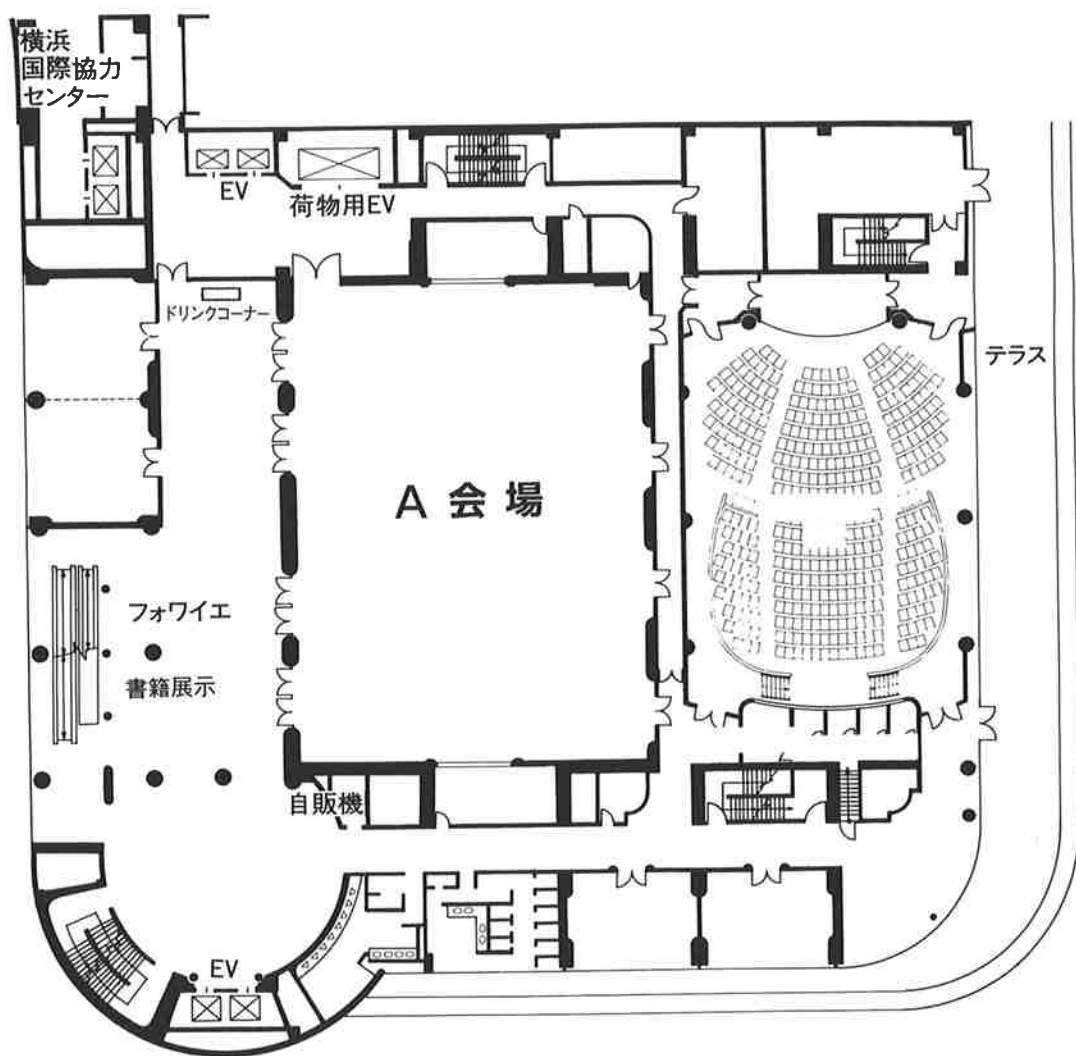
## 3 F





# 会場見取図

## 5 F



日程表 (午前)

時間 会場		8:00		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00	
		30		35						58		30	
パシフィック横浜 ・ 会議センター1	A 会場 (5F)	受付	会長挨拶	検査法 (1) MRA A1-A7	動脈瘤 (1) A8-A14	動脈瘤 (2) A15-A21	動脈瘤 (3) A22-A29	昼休み		脳検診で発見される脳神経経路疾患の説明の会		世話人会報告	
	座長			上村	太田	戸谷	斎藤						
	B 会場 (3F)			無症候性脳梗塞 (1) B1-B8	無症候性脳梗塞 (2) B9-B15	無症候性脳梗塞 (3) B16-B21	検査法 (2) B22-B29	昼休み					
座長			小林	山口	福井	松本							

日程表 (午後)

14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00	
15				5				45			
特別講演 人間ドックの 日野原重明 将去の現在 と通し	シンポジウム 「発見された無症候性 脳血管病変にいか に対処するか」  S1-S8			検 査 法 (3)  3D-CT  A30-A35	脳 血 管 奇 形 ・ 脳 腫 瘍 ・ そ の 他  A36-40	閉 会 の 挨拶	サテライト セミナー  「最新MR 情報」 5社		懇 親 会		
篠原	赫・山田			朝倉	高倉	中川・灰田					
				脳 ド ッ ク の 諸 問 題 (1)  B30-B36	脳 ド ッ ク の 諸 問 題 (2)  B37-41						
				早川	藤原						

# 第3回 日本脳ドック研究会

平成6年6月18日(土)

## A 会場

開会の辞(8:30~8:35)

会長 篠原 幸人

検査法(1)MRA(8:35~9:24)

座長 上村 和夫

A-1 0.5T超電導機種による脳ドック受診者の検討

川村病院, 小山田記念温泉病院 神経内科 米山 榮

A-2 MRAによる脳血管病変のスクリーニング

福德医学会病院 脳神経外科 坂井信幸

A-3 脳ドックにおけるMR Angiography の評価

新須磨病院 脳神経外科 浜崎昌丈

A-4 閉塞性脳血管障害に対する0.5T routine MRAとconventional angiography  
との比較

大島病院 脳神経外科 大島勇紀

A-5 MRAを用いた中大脳動脈狭窄の画像診断の試み—その有用性について—

苫小牧市立総合病院 脳神経外科 原田達男

A-6 MRIで軽微な病変のみの内頸動脈閉塞症例の検討

マツダ病院 脳神経外科 羽田 浩

A-7 モヤモヤ病患者家族のMRA検査

九州大学 脳研外科 松島俊夫

動脈瘤(1)(9:24~10:13)

座長 太田 富雄

A-8 MR Angiography による脳動脈瘤の診断Ⅲ

戸田中央総合病院 脳神経外科 竹山英二

A-9 未破裂脳動脈瘤診断におけるTarget MRAの有用性

札幌医科大学 脳神経外科 田邊純嘉

- A-10 脳ドックでの未破裂脳動脈瘤の検索におけるMRAの問題点  
岡山旭東病院 脳神経外科 吉岡純二
- A-11 脳ドックにおける未破裂脳動脈瘤の検出に関する信頼性と問題点について  
日立製作所日立総合病院 脳神経外科 和田美弦
- A-12 MRアンジオグラフィー (MRA) のPitfall  
－診断困難な動脈瘤の検討－  
蘇生会総合病院 脳神経外科 小島正行
- A-13 直径2mmの脳動脈瘤の診断に造影MRAが有用であった未破裂動脈瘤の一例  
小林病院 脳神経外科 橋爪 明
- A-14 未破裂脳動脈瘤疑陽性例の検討  
秋田県立脳血管センター 脳神経外科 波出石 弘

## 動脈瘤(2)(10:13～11:02)

座長 戸谷 重雄

- A-15 MRAにより発見された未破裂脳動脈瘤46例の検討  
福井総合病院 辻 哲朗
- A-16 最近10年間の無症候性脳動脈瘤の分析  
広南病院 脳神経外科 藤原 悟
- A-17 未破裂脳動脈瘤, 非手術例のfollow up  
十和田市立中央病院 脳神経外科 畑中光昭
- A-18 「脳ドック」における未破裂脳動脈瘤の非手術例 －問題点の検討－  
新さっぽろ脳神経外科病院 中川俊男
- A-19 未破裂脳動脈瘤の治療指針 －Index 作成の試み－  
函館赤十字病院 脳神経外科 松崎隆幸
- A-20 脳ドックにおける脳動脈瘤の検出と治療  
宇部興産中央病院 脳神経外科 黒川 泰
- A-21 脳ドックで発見された未破裂脳動脈瘤の手術適応に関して  
千葉大学 脳神経外科 久保田基夫

動脈瘤(3)(11:02~11:58)

座長 齋藤 勇

- A-22 くも膜下出血が否定された頭痛患者に対する動脈瘤検索の必要性  
(第2報) -手術でminor leakを認めた例の検討-  
東松山市立市民病院 脳神経外科 竹内東太郎
- A-23 未破裂動脈瘤に対する手術適応に悩んだ3症例の検討  
小林病院 脳神経外科 橋爪 明
- A-24 未破裂動脈瘤の中には、手術しなくてもいいケースが、あるかもしれない  
市立四日市病院 脳神経外科 伊藤八峯
- A-25 術中所見よりみた未破裂脳動脈瘤の危険因子の検討  
大阪労災病院 脳神経外科 松本勝美
- A-26 未破裂脳動脈瘤の術中所見  
厚地脳神経外科病院 山神雅之
- A-27 未破裂脳動脈瘤への対処  
那須脳神経外科病院 宮沢伸彦
- A-28 未破裂脳動脈瘤とその対処  
杏林大学 脳神経外科 塩川芳昭
- A-29 高齢者未破裂脳動脈瘤の手術  
釧路脳神経外科病院 齋藤孝次

昼 食(11:58~)

説明会(12:30~13:00)

脳検診で発見される脳神経疾患の経過観察に関する説明会

世話人会報告(13:00~13:15)

特別講演(13:15~14:00)

座長 篠原 幸人

「人間ドックの過去・現在と将来の見通し」

聖路加国際病院院長, 聖路加看護大学学長 日野原重明 先生

シンポジウム(14:00~16:00)

座長 赫 彰郎 山田 弘

「発見された無症候性脳血管病変にいかに対処するか」

S-1 無症候性脳虚血性病変

国立循環器病センター 内科 山口 武典

S-2 無症候性脳出血の現状と対策

東海大学 神経内科 浜野 均

S-3 無症候性脳血管狭窄・閉塞にいかに対処するか

国立循環器病センター 脳神経外科 塚原 徹也

S-4 無症候性モヤモヤ病にいかに対処するか

—全国アンケート調査をもとに—

九州大学 脳神経外科 藤井 清孝

S-5 無症候性脳動脈瘤の治療

東北大学 脳神経外科 吉本 高志

S-6 無症候性脳動静脈奇形

札幌医科大学 脳神経外科 端 和夫

S-7 無症候性脳腫瘍：130例の分析

新潟大学 脳神経外科 田中 隆一

S-8 無症候性慢性硬膜下血腫

川崎市立井田病院 脳神経外科 森井 誠二

検査法(3) 3D-CT(16:05~16:47)

座長 朝倉 哲彦

A-30 脳ドックにおけるMRAと3D-CT angiography の役割について

兵庫県立淡路病院 脳神経外科 萬代和弘

- A-31 三次元脳血管CT検査 脳ドックにおける有用性について  
みつわ台総合病院 脳神経外科 仁瓶博史
- A-32 ヘリカルスキャンを用いた 3D-CT angiographyの脳動脈瘤診断における有用性  
藤田保健衛生大学 脳神経外科 木家信夫
- A-33 3D-CT angiographyによる無症候性未破裂脳動脈瘤の形態的評価  
－術中所見との対比検討－  
松山市民病院 脳神経外科 須賀正和
- A-34 スクリーニング検査としての3次元 CT Angiography (3D-CTA)の可能性と問題点 ー未破裂脳動脈瘤の診断ー  
札幌医科大学 脳神経外科 田邊純嘉
- A-35 クリッピング術後患者の脳動脈瘤スクリーニング方法の検討  
国立循環器病センター 脳血管外科 鈴木 進

脳血管奇形・脳腫瘍・その他(16:47~17:22) 座長 高倉 公朋

- A-36 無症候性AVMに対するradiosurgery の経験  
東京女子医科大学脳神経センター 脳神経外科 塩川和彦
- A-37 無症候性脳疾患に対するGamma Knife治療  
藤枝平成記念病院 GAMMA UNIT CENTER 脳神経外科 森木章人
- A-38 高磁場MRIで認められる無症候性松果体嚢胞  
札幌麻生脳神経外科病院 池田 潤
- A-39 未破裂脳動脈瘤の検診における費用ー効用分析  
兵庫県立姫路循環器病センター 脳神経外科 藤田稠清
- A-40 磁気共鳴血管撮影による未破裂脳動脈瘤検診における費用効用分析の試み  
埼玉工業大学 基礎工学科 飯沼 武

閉会の辞(17:30~17:35) 会長 篠原 幸人



## B 会 場

### 無症候性脳梗塞(1)(8:35~9:31)

座長 小林 祥泰

- B-1 MRI Leukoaraiosisの検討 -脳ドック261例の経験-  
岐阜大学 脳神経外科 酒井秀樹
- B-2 脳ドック受診患者における MRI T2強調画像高信号域の検討  
慶応義塾大学 脳神経外科 堀口 崇
- B-3 脳ドック受診例におけるMRI上の大脳白質病変  
秋田大学 脳神経外科 峯浦一喜
- B-4 脳ドック受診者における無症候性脳梗塞の検討  
聖隷浜松病院 神経内科 武藤繁貴
- B-5 無症候性脳梗塞と危険因子との関係  
平成記念病院 BRAIN SCREENING CENTER 脳神経外科 平井達夫
- B-6 脳ドックにおける無症候性脳虚血性病変 -その危険因子について-  
岐阜県立下呂温泉病院 脳神経外科 安藤弘道
- B-7 CT, 脳血管撮影所見におけるrisk factor としての血液検査値の検討  
神戸大学 脳神経外科 西田吉充
- B-8 健常者と潜在性ならびに症候性脳梗塞患者における血清脂質異常の検討  
成田記念病院 神経内科 川畑信也

### 無症候性脳梗塞(2)(9:31~10:20)

座長 山口 武典

- B-9 無症候性脳虚血性病変と危険因子(1)  
脳虚血性病変の分類と加齢による変化について  
千葉大学 脳神経外科 久保田基夫
- B-10 無症候性脳虚血性病変と危険因子(2)  
全身合併症の脳虚血性病変への影響  
千葉大学 脳神経外科 宮川 正

- B-1 1 無症候性脳虚血性病変と危険因子(3)  
 飲酒・喫煙の脳萎縮・脳虚血性病変への影響  
 千葉大学 脳神経外科 荷堂 謙
- B-1 2 喫煙と無症候性脳梗塞 —脳ドック受診者での検討—  
 島根医科大学 第3内科 山下一也
- B-1 3 無症候性脳梗塞リスクファクターとの検討  
 —特に、血小板凝集能との関連について—  
 健康保険鳴門病院 脳神経外科 津田敏雄
- B-1 4 無症候性脳梗塞における血小板活性化と大血管病変  
 東京女子医科大学 神経内科 内山真一郎
- B-1 5 無症候性脳虚血性病変の経時的変化と危険因子・抗血小板薬服用の関与  
 東海大学 神経内科 浜野ユミ

**無症候性脳梗塞(3)(10:20~11:02)**

**座長 福井 仁士**

- B-1 6 T2強調画像における高信号域と大脳高次機能  
 大分医科大学 脳神経外科 下村 剛
- B-1 7 脳ドックにおけるMRI上の潜在性脳病変と認知機能  
 島根医科大学 第3内科 小林祥泰
- B-1 8 MRIによる脳幹部無症候性脳梗塞の特徴  
 横手クリニック 脳神経外科 横手英義
- B-1 9 無症候性小脳梗塞の検討  
 長尾病院 脳神経外科 佐々木真人
- B-2 0 脳ドック, MRIでのT<sub>2</sub>異常者への対応  
 熊本整形外科病院 弥富親秀
- B-2 1 無症候性脳梗塞の評価と管理  
 神戸大学 脳神経外科 花田友成

検査法(2)(11:02~11:58)

座長 松本 圭蔵

B-22 当施設での脳梗塞患者におけるXe-CTの検討  
-脳ドック症例と対比して-

田岡病院 脳神経外科 阿川昌仁

B-23 脳ドックおよび外来診療における静注DSAの有用性と限界

済生会富山病院 脳神経外科 堀江幸男

B-24 脳ドックに於けるP300検査の有用性

金沢市立病院 神経内科 杉山 有

B-25 反応時間 (Reaction Time: RT) を用いた脳機能評価

井野口病院 脳神経外科 丸石正治

B-26 音響学的手法による頭頸部血管性病変検出の試み

岩手医科大学 脳神経外科 太田原康成

B-27 近赤外線による非観血的局所脳酸素飽和濃度と総頸動脈血流量の比較

聖マリアンナ医科大学 第2内科 斉藤加代子

B-28 脳ドック検査項目としての脳磁図 (MEG)

広南病院 脳神経外科 中里信和

B-29 脳ドックの検査項目は統一できるか

広南病院 脳神経外科 藤原 悟

昼 食(11:58~13:00)

脳ドックの諸問題(1)(16:05~16:54)

座長 早川 徹

B-30 脳ドック312例の検討

佼成病院 脳神経外科 陳 茂楠

B-31 脳ドック400人の分析

京都南病院 脳神経外科 幸地延夫

B-32 MRIによる脳健診の経験

防衛医科大学校 脳神経外科 柳川洋一

B-33 脳ドックとその Follow-up

寺元記念病院 脳神経外科 伊藤 守

B-34 MRIとMRAによる脳疾患の長期 follow up

旭川医科大学 脳神経外科 田中達也

B-35 脳ドックへの再診状況

浜松医科大学 脳神経外科 今村陽子

B-36 脳ドックにおける投薬例のコンプライアンス

—MRI上の多発性小高信号域例について—

黒沢病院 脳神経外科 岡田慶一

## 脳ドックの諸問題(2)(16:54~17:29)

座長 藤原 悟

B-37 全国「脳ドック」実施医療機関の現況

新さっぽろ脳神経外科病院 中川俊男

B-38 自治体との協力によるMR脳検診について

藤井脳神経外科病院 鎌形充泰

B-39 脳ドックのためのインフォームド・コンセント

津生協病院 脳神経外科 笠間 睦

B-40 脳ドック受診者アンケートの分析

東芝林間病院 健康管理センター 宮城 隆

B-41 脳ドック・人間ドックの盲点, 甲状腺病変

佐久総合病院 脳神経外科 河野和幸